

KIEF NEWS

No.89 2022.3

TOPIC

- 1 「外国人フォトコンテスト」開催
- 2 事業報告
- 3 お知らせ
- 4 新国際交流員の紹介

★TOPIC 1 「外国人フォトコンテスト ～金沢はステキな場所・人・モノにあふれてる!～」開催

コロナ禍で帰国が制限される中、金沢市在住の外国人の方々から「故郷を思い出したり、また心の拠り所になっている金沢の場所」「金沢での生活を支えてくれている人」「金沢で出会ったお気に入りのモノ」をテーマにした写真とメッセージを募集し、外国人の視点から金沢のまちの新たな魅力を再発見する「外国人フォトコンテスト～金沢はステキな場所・人・モノにあふれてる!～」を開催しました。

2021年10月9日(土)～10月10日(日)に、かなざわ国際交流まつり2021会場の金沢市役所第一本庁舎1階エントランスホールにて、また10月16日(土)～10月31日(日)にリファーレビル2Fの本町交流スクエアにて、市内の日本語学校や大学に通う留学生、県内の企業で働く会社員や技能実習生など、総勢13の国や地域の出身の方々から応募いただいた50点の作品を展示しました。

展示会場では、来場者から一番お気に入りの写真を選んで投票していただきましたが、最終日までに593の投票があり、投票数の多いものから、最優秀賞1名、優秀賞1名、入賞3名を決定いたしました。

最優秀賞



「兼六園の雪吊り」

サンタナ・ルーカス
(ブラジル出身)

優秀賞



「金沢大学にある幸運の桜と夕焼け」

アフイファー・マヤ・イクナニングルム
(インドネシア出身)

入賞作品



「コロナ禍の田舎での結婚写真」

ローレンス・イアン
(アメリカ出身)



「不思議な波」

ラジバハク・ロジャン
(ネパール出身)



「ここに咲く故郷」

ズン・マー・ウー
(ミャンマー出身)

11月21日(日)には表彰式を開催し、受賞された方々へ賞状と副賞の贈呈を行いました。また受賞者の方々による座談会も開催し、受賞した感想に加え、金沢での生活の様子や今後の抱負などをインタビュー形式でお話しいただきました。

それぞれの写真からは、金沢と母国の風景を重ねて思いを馳せる様子や、普段の何気ない場所でも、外国人からの視点が加わるとまた違った印象に見えるなど、新鮮な驚きや発見がありました。一方で、言葉も文化も違う国や地域から来られた方々が、日々遭遇する困難を乗り越えながら懸命に努力している姿なども、来場された多くの市民の共感を呼ぶ展示会となりました。



表彰式の様子

★ TOPIC 2 事業報告

9月20日(月・祝)
オンライン
グローバルキッズセミナー



金沢に暮らす外国人と小学生が英語で異文化交流を行うオンラインイベントを開催し、小学4～6年生の5名が参加しました。講師はロシア出身の金沢大学留学生タティアーニャさんとバレンティナさん。お二人からロシアの小学校生活や、日本の約40倍の広大な土地を持つことなどをご紹介いただき、また子どもたちと一緒に英語を使ったゲームで交流しました。当初は緊張気味の子どもたちも、英語で交流する楽しさを感じてくれたようです。

9月23日(木・祝)
日本語を母語としない子どもと保護者のための高校進学説明会



リファーレ4F大研修室にて、高校進学説明会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催を見送りましたが、今年は石川県内からベトナムやフィリピン、インドネシア出身の5家族が参加しました。金沢こどもスタディサポートの活動や経験者のお話から、「高校受験の仕組みやどんな高校を目指したらよいか分かった」といった声が寄せられ、進学に向けて一層の理解を深められたようでした。

10月1日(金)
外国人母子通訳ボランティア研修
第1回「母子保健の基礎知識」



リファーレ4F大研修室にて、元町福祉健康センター保健師の山崎美桜さんを講師に招き、外国人母子通訳ボランティア14名を対象にしたスキルアップ研修を開催しました。乳幼児健診を始めとした金沢市が実施する「母子保健事業」について改めて理解を深めるとともに、通訳活動が単に言葉の支援だけでなく、外国人母子の体と心のケアにもつながっているなど、ボランティアの役割や意義を再確認する研修会となりました。

10月9日(土)、10日(日) かなざわ国際交流まつり2021



北陸最大級の国際交流イベントである「かなざわ国際交流まつり」を、金沢市庁舎前広場にて、35の国際交流関係団体と共に開催いたしました。コロナ禍ではありましたが、今年は、グルメコーナーをテイクアウト形式で復活、入口を2か所に限定して入場者の検温と人数を調整し、またステージ上での飛沫防止パネルを設置するなど、感染防止対策を徹底して行いました。おかげさまで当日は、2日間とも好天に恵まれ、約13,000人の多くの方々にご来場いただきました。今年初の試みとして、まつり会場の様子をYouTubeの動画で当日生配信いたしました。マスク越しではあるものの、会場のあちこちで人々の交流が生まれている様子が伺えました。

11月20日(土) 第1回留学生のための金沢文化体験イベント



市内の留学生10名が、ボランティアガイドの案内で尾山神社・長町武家屋敷群を散策しました。留学生たちはかつての武士の住居に興味津々、また野村家庭園の美しさに感嘆の声を上げていました。その後、長町の青木クッキングスクールにて金沢の郷土料理治部煮作りを体験しました。和気あいあいと料理を作って、「おいしいです！」と笑顔を見せてくれたのが印象的でした。金沢の街を堪能した一日となりました。

11月27日(土) 技能実習生の金沢文化体験プログラム



株式会社アイデンに勤めるベトナム人実習生4名を対象に、越山甘清堂で「和菓子作り体験」と加賀友禅会館で「加賀友禅染め体験」を行いました。和菓子作りでは上生菓子2種類に挑戦し、型染め体験では、ハンカチに好きな型紙を選んで染めました。実習生のみなさんは、仕事で毎日忙しい生活を送っており、本格的な金沢の伝統文化体験は今回が初めてとのこと。忘れられない貴重な体験になったようです。

12月19日(日)
アメリカのクリスマス体験！
おかしのおうちをつくろう♪



リファーレ4階大研修室にて、アメリカ出身の国際交流員リンダさんによる、アメリカの子どもたちも大好きなおかしのおうち（ジンジャーブレッドハウス）づくりのクリスマスイベントを開催し、小学生の親子11組が参加しました。クッキーのパーツを組み立て、お菓子で可愛くデコレーション。それぞれ素敵な仕上がりになっていました。最後はリンダさんがクリスマス絵本を英語で読み聞かせし、クリスマスムードを盛り上げてくれました。

1月23日(日)
英語de異文化理解！
～タイ編～



リファーレ4階大研修室にて、参加者17名を対象に、タイ出身の留学生2名による英語での国際理解講座を開催しました。2名の講師の出身地であるタイの北部（チェンマイ）と南部（ソンクラ）を比較しながら、タイ語や民族、地理、伝統行事、観光地など幅広く紹介して頂きました。さらに「ワイ」と言われるタイ式の挨拶の動作を交えた紹介や迫力あるムエタイの披露もありました。参加者からは「講師の話は分かりやすく、非常に興味深かった」といった声が多く寄せられ、楽しくタイの文化や英語に触れられる機会となったようでした。

1月23日(日)
親子で世界を学ぼう
～中国春節の提灯かざりワークショップ～



リファーレ4階大研修室にて、中国の旧正月「春節」を前に、中国出身国際交流員の田玲（でんれい）さんによる、中国文化に親しむイベントを開催し、年長～小学3年生の子どもと親6組が参加しました。田さんから小学校生活・食文化・パンダなど、子どもたちの身近な話題を通じて楽しく中国について学んだ後は、春節のシンボルで各家庭に飾られる提灯飾りの工作に挑戦しました。色とりどりの画用紙を貼り合わせ、皆さんとても上手にできました。

1月29日(土) 高校生のためのグローバル人材育成セミナー

海外留学や国際分野での活躍に関心がある高校1年生～3年生の17名を対象にした「高校生のためのグローバル人材育成セミナー」を金沢市文化ホールで開催しました。セミナーは3部構成で、第1部はビジネス英語コーチの関口千恵さんによる「海外留学や海外勤務を目指すにあたって知っておきたいこと」として、ご自身の経験を交えた海外留学を成功させるために必要なことや「生きた英語を習得するコツ」についてご紹介いただきました。第2部は、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊OBの高坂知樹さんから、「海外ボランティアや海外1人旅を通じて学んだこと」として、協力隊として過ごしたジャマイカでの2年間の悪戦苦闘の日々や、海外一人旅を通じて学んだことについてお話しいただきました。第3部は、キャリア開発専門家の田中公康さんから、「キャリアデザインの実践 なりたい自分になる方法」として、世の中の急激な変化に対応していくために必要となる、自律的なキャリア形成のための心構えのお話や「人生曲線」を使ったワークショップを行いました。



外国にルーツのある子どもの日本語サポート



2021年8月に「外国にルーツのある子どもの日本語サポート」をテーマとしたボランティア研修会を開催しました。その後、2020年5月に来日し、高校進学を目指しているフィリピン出身の男の子Aさんを対象とした日本語支援をスタートさせました。初めに石川県日本語講師会の先生による日本語授業の見学やレクチャーを実施し、9月より3名のボランティアの方が連携を取りながら、オンラインと対面を併用した日本語支援を週2回行っています。支援者の熱心なサポートを受けて、Aさんはそれに応えるようにひたむきに勉強を続けた結果、来日当初と比べると日本語力はかなり上達しました。

3月に高校入試がありますが、Aさんが志望校に無事合格することを支援者、スタッフ一同心より願っています。これから教科学習に必要な日本語の支援も必要になるAさんを含め、来年度も引き続き日本語ボランティアの方々や関係団体と協力しながら外国につながる子どもたちの日本語サポートを行っていききたいと思います。

★ TOPIC 3 お知らせ

国際交流団体活動予定

東西文化交流協会

●着物を着て武家屋敷散策

日 時：4月3日(日)
参加費：1,200円(外国人)

●花見団子作り

日 時：4月17日(日)
参加費：1,000円(日本人)
700円(外国人)

●中国料理

日 時：5月15日(日)
参加費：1,000円(日本人)
700円(外国人)

●百万石行列参加

日 時：6月4日(土)
参加費：1,000円(外国人・日本人)

<お問い合わせ>
担当：川森 洋子 電話：090-8265-0283

石川県国際交流協会

●国際理解のための外国語講座

- ・ロシア語会話入門
毎週火曜日(5月10日～7月中旬)
- ・韓国語会話入門
毎週木曜日(5月12日～7月中旬)
- ・英語会話中級
毎週木曜日(5月12日～7月中旬)

対 象：石川県に在住または勤務されている方 ※未成年は除く
時 間：18時40分～19時55分(75分)
回 数：10回 受講料：8,000円
定 員：各講座15名 申込締切：4月1日(金) 必着

<お問い合わせ>
担当：岡田 電話：076-222-5932 E-mail：kikaku2@ifie.or.jp

★ TOPIC 4 新国際交流員の紹介



●アメリカ出身 リュー・リンダさん

Hello, everyone! はじめまして。アメリカの国際交流員のリンダと申します。ニューヨーク市出身で、去年の9月の末に金沢市に引っ越してきました。大学で日本語を勉強し始めたときに、母国語の英語と全く違う日本語に一目惚れしました。子供のころからジブリ映画を見たり、任天堂のゲームをしたりしてきましたが、日本語の勉強を通して、テレビ画面で見られない日本に触れ合い、日本の文化を少しずつ理解できるようになりました。国際交流員として金沢市に住んでいる人々と交流し、深いつながりを築いていきたいと思っています。金沢市をいつか「私の第二の故郷」と呼べるようになることを心から望んでいます。そして、観光パンフレットでは見られないアメリカを皆さんに紹介するために頑張ります！

読書が大好きで、休みの日にはよく図書館と本屋に行きます。日本にいる間に、小説を山ほど読み、日本文学への理解を深めたいと思います。これからどうぞよろしくお願いします。



●フランス出身 ルベル・マシアさん

皆さん、ボンジュール！こんにちは。初めまして！フランスの国際交流員、マシア・ルベルと申します。パリ出身で、小さい頃に親戚の旅行の写真をみて日本の景色に感動し、それからずっと日本の文化や歴史に興味を持ち、大学は日本学部を卒業しました。その後、京都で2年間住み、経験や日本語力を高めることができ、日本とフランスの文化交流に関わりたいと思うようになりました。金沢は伝統工芸を守ると同時に、21世紀美術館などを立ち上げ、その特徴を未来へつなげている町なので、とても素敵です！すぐに好きになりました。

私の趣味は、映画や、展覧会、舞台、音楽、言語を学ぶことです。回転寿司も大好物で、カラオケも好きです。これから、金沢とフランスのつながりをより強くするために、アートやイベントを通して、CIRとして頑張りますので、どうぞよろしくお願いします！ Merci beaucoup (メルシーボク)

発行・問い合わせ先



**KANAZAWA
INTERNATIONAL
EXCHANGE
FOUNDATION**

(公財)金沢国際交流財団

〒920-0853 金沢市本町1-5-3 リファール2F

Phone (076) 220-2522

F A X (076) 220-2527

URL : <http://www.kief.jp>

E-mail : kief@kief.jp

